Webサイトのお知らせ

学生ボイスなども充実！

会報誌と連動して、充実したコンテンツをお届けします！

今すぐアクセス！

アクセスはこちら！

父母教育後援会
https://www.ritsumei-fubo.com/
立命館大学Webサイト→保護者の方

立命館　父母教育後援会　検索

Webでもアンケートを受け付けます！

いつも父母教育後援会だよりをご愛読いただきありがとうございます。
この度、同封しているアンケートをWebからも記入できるようにしました。
読者である保護者の皆様の声に耳を傾けて、
より充実した誌面を作成していきますので、
ご協力いただけますようお願い申し上げます。

アンケートは
こちら
▼

■会員の住所変更について

本誌は、学生が学部に届け出ている保証人住所宛に送付しています。
保証人住所を変更される場合は学生本人による手続きが必要です。
学びステーションまで学生証を持参の上、手続きするようお子様にお伝えください。
※最近、立命館や関係団体等の名刺を利用した悪質なビジネス等が横行しております。
父母教育後援会は、会員の照会を学生には一切行っておりませんので、くれぐれもご注意ください。

RITSUMEIKAN

立命館大学父母教育後援会だより　2020年度 冬号
2020年12月発行　立命館大学父母教育後援会
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
TEL：075-813-8261　FAX：075-813-8262

PASEAR

※コロナ禍以前のキャンパスの様子です。現在はキャンパスに入構するすべての人にマスク着用が義務付けられています。

2020年度
冬号

特集 **WITH CORONAの Campus Life**

ゼミナール訪問
知への扉
キャンパス探訪 ～BKC&OIC編～
識者の視点
卒業生からの手紙
あるあるR探検隊
摂津の風土記
Information

立命館大学
父母教育後援会だより
Parents Association of Student Education Assistance Newsletter

Daily Life
06
Ritsumeikan

私たち、
今日も元気です。

今号の1枚

「おかえりなさい」

秋学期からの対面授業再開に際して、各キャンパスではフォトスポットを設置。
学生たちは久しぶりに再会する友人たちと楽しそうにしていました。

Contents

特集
P2 WITH CORONAの Campus Life

P11 ゼミナール訪問
P13 知への扉
P15 キャンパス探訪 ～BKC&OIC編～
P19 識者の視点
P21 卒業生からの手紙
P23 あるあるR探検隊
P25 摂津の風土記
P26 Information

WITH CORONAの Campus Life

ウィズコロナの世界の中で再開した新しい生活。立命館大学ではどのような取り組みを実施して、学生たちはどんなキャンパスライフを送っているのでしょうか。ここでは最新のキャンパスの様子をご紹介します。

❶各キャンパスに設置されたフォトスポット。❷ソーシャルディスタンスを保つ学生たち。❸ソーシャルディスタンスの間隔をユーモラスに表現する看板。
❹テーブル等には新しい学生生活の過ごし方を解説するボードを設置。❺新入生の勧誘をするクラブ・サークル。

感染防止対策を徹底した上で、新しい学生生活が始まりました。

立命館大学では9月28日（月）、秋学期から感染防止対策を徹底した上で、一部の科目での対面授業を再開し、キャンパス内で学習・研究活動ができるようになりました。授業は①対面授業、②対面＋Web授業、③Web授業という3つの方法で実施しています。

各キャンパスではウェルカムボードや記念写真のフォトスポットを設置し、久しぶりにキャンパスに戻ってきた学生たちは、うれしそうに友人との再会を楽しんでいました。

立命館大学では、厚生労働省が推奨する「新しい生活様式」を基本に据えて、学生や教職員の安全を最優先した上で、より安心して授業や学生生活を送ることができる環境を整えていきます。

新型コロナウイルス感染症に対する 立命館大学の行動指針（BCP）について

立命館大学では「新型コロナウイルス感染症に対する立命館大学の行動指針（BCP）」を策定し、BCPの活動レベルに応じて各種の対応を判断しています。BCPについて詳しく知りたい方は、立命館大学公式ホームページでご確認ください。

学長公認！ Photo spot

「Welcome and Welcome Back」と掲げられたボードのほか、仲谷 善雄学長のパネルがある新聞記事風のフォトブースなど、ユニークなフォトスポットで学生たちの「帰省」を歓迎しました。

こんな取り組みを実施しています！

「立命館大学における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を作成し、学生や教職員にも周知をはかった上で、感染拡大予防に努めています。

サーモグラフィー検温

キャンパスの各所でサーモグラフィー検温を実施しています。一部の測定装置では顔認証でマスクをしていないと自動で注意が呼びかけられるシステムとなっています。

手指消毒の徹底

各建物の入り口や人が集まる場所にはアルコール消毒液を設置しています。こまめに正しい手洗いや手指の消毒をすることで感染の拡大を防止します。

ソーシャルディスタンスの確保

ユニークな標識でソーシャルディスタンスの間隔を提示。エレベーターでは立ち位置を示すなど、学生には「密」を避けることを意識してもらっています。

注意喚起

「みんなで防ぐ」という意識のもと、食堂、学生ホール、教室、トイレなど、あらゆる場所で注意喚起のポスターや張り紙が設置されています。

対面授業

秋学期から対面授業が再開。
一部はWeb授業と組み合わせて実施。

秋学期から感染防止対策を徹底した上で、一部の科目で教室での対面授業を再開しました。授業方法は、科目の特性や教室条件などを考慮し、大きく分けて、**①対面授業（基本的にすべての授業回を教室で実施）、②対面＋Web授業（授業回の一部を対面で一部をWebで実施、受講者を授業回によって対面とWebに分割して実施）、③Web授業（すべての授業をWeb授業で実施）**という3つの方法で実施します。

対面授業

対面授業＋Web授業

Web授業

上記の授業は対面＋Web授業となっており、多くの学生がオンラインで参加しました。教室にいる学生は適切な距離を取り、換気を徹底するなどの対策を実施しています。

100円朝食

父母教育後援会の100円朝食も再開。
より健やかな学生の生活リズムを作る。

9月28日より一部の対面授業が再開したことを受けて、生協食堂で100円朝食も再開されました。立命館大学の100円朝食は、学生の健やかな生活リズムを作るために父母教育後援会が支援する事業で、全国の大学に広がった取り組みです。午前中の図書館利用率が上がるなど教育効果も高く、2015年度第4回「健康寿命をのばそう！アワード」で厚生労働大臣最優秀賞を受賞しました。

秋学期から会場が変更となりました

衣笠　存心館食堂

BKC　ユニオンスクエア2Fフードコート

OIC　OIC Cafeteria（C棟1F）

100円朝食会場では、パーテーションで区切って席を用意。支払いは非接触の電子マネーを推奨しており、小鉢などは個別にラップをして提供するなど対策を徹底しています。

＼ 再開しました！　新しい学生生活 ／

図書館

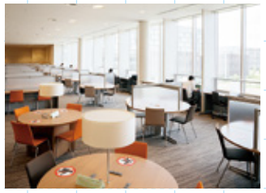
感染防止対策を講じた上でいち早く再開。
郵送貸出などの新サービスも登場。

4月に政府による「緊急事態宣言」発令を踏まえた措置として、キャンパスへの入構が禁止となったことに伴い、各キャンパスの図書館も臨時休館しておりましたが、教育的な意義を鑑み、6月1日より再開しています。新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、一部サービスは制限されていますが、郵送貸出（累計申込者数10,017名、23,150冊）などの新しいサービスも実施しています。
※郵送貸出サービスは送料無料です。

衣笠　平井嘉一郎記念図書館

BKC　メディアセンター／メディアライブラリー

OIC　OICライブラリー



席数は制限されていますが、換気などの感染防止対策を徹底した上で、図書館内での自習も可能です。入館前には各自での健康チェック（検温を含む）が義務付けられています。

生協購買

早めの再開で学生を支援。
感染防止対策も万全です。

食品や文房具、日用雑貨などを販売する生協の購買は、学生生活を支える欠かせない存在でした。キャンパスの入構禁止期間中はやむを得ず全店閉店していましたが、「学生生活を支える」という立命館大学生活協同組合のご協力により、6月1日より営業を再開しています。もちろん感染防止対策は徹底しており、食堂と同様に入店前にサーモグラフィー検温や手指の消毒などを実施しています。

衣笠　至徳館購買部 など

BKC　リンクショップ など

OIC　OIC Shop など

学生生活に必要なものなら「何でも揃う」のが生協購買の魅力。特に一人暮らしをする学生にとっては貴重な存在で、早めに再開したことで助かったという声も少なくありません。

新型コロナウイルス禍での取り組みについて

キャリアセンターからのメッセージ

キャリアセンター次長
東 美江

全力で寄り添うスタッフが待っています。今こそキャリアセンターを頼ってください。

キャリアセンターでは新型コロナウイルス禍が始まった初期の段階から、いち早く「就職活動応援特設サイト」を立ち上げ、最新の支援情報を学生に提供しています。就職活動に取り組む学生へのサポートを一時たりとも途絶えさせてはならないという方針のもと、対面に加えオンラインやメールでも相談を受け付けています。また、就職活動を継続している学生向けにWeb企業説明会や支援企画も随時開催しています。春先からは企業の採用活動が一時的に停止してしまったので、学生の就職活動も停滞せざるを得なくなりましたが、最近になって学生からもうれしい報告が増えてきて、内定報告率は前年度に近づく勢いとなっています。通常の就職活動においても順調に進まない場面は多々ありますが、私たちキャリアセンターのスタッフは学生に寄り添い、全力でサポートします。先行きの不透明な今だからこそ、どうか私たちを頼りにしてほしいと思います。何かありましたら遠慮なくキャリアセンターにご相談ください。

「就活HANDBOOK」

3回生にはご自宅に就活HANDBOOKをお届けしました。スケジュール帳に加え、就職活動に役立つアドバイスなどが掲載されています。

3回生以降のキャリアセンター支援企画

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月

【進路の意思決定】

【選択期】職業観の醸成
- ✓ 社会との接点を持つ（インターンシップ・OBOG訪問 新聞・ニュースなど）
- ✓ 自分を振り返る
- ✓ 学生生活の充実
- ✓ 選考対策理解

【準備期】各種選考対策
- ✓ 自己分析
- ✓ 業界・企業研究
- ✓ 筆記試験対策

【直前期】集大成とブラッシュアップ
- ✓ 自己PRや志望動機のアウトプット
- ✓ 応募企業の検討＆決定

【選考期】就活本格始動!!
- ★求人情報公開
- ★企業説明会・企業セミナー
- ★エントリーシート提出
- ★筆記試験・WEBテスト
- ★面接　etc…

キャリアセンター支援企画（状況により変更の可能性があります）

（5月）「進路選択・インターンシップ」ガイダンス

【インターンシップ選考対策】
- ◇(文)業界理解セミナー 業界研究セミナー
- ◇(理)インターンシップ準備セミナー
- ◇就活マナーUPセミナー
- ◇グループディスカッション講座

【筆記試験対策企画】
- ◇筆記試験eラーニング（StudyCamp）

【OBOG企画】
- ◇OBOG訪問実践講座
- ◇学内OBOG訪問会

【文系修士・博士前期課程対象】
進路・就職ガイダンス
自己分析・企業研究セミナー

（10月）文系「就活・採用選考対策」ガイダンス
理系「進路・就職」ガイダンス

【本選考対策】
- ◇(文)業界研究セミナー
- ◇(理)就活準備セミナー
- ◇(理)研究内容プレゼンテーションワークショップ

【OBOG企画】
- ◇OBOG自己PR練習会
- ◇学内OBOG訪問会

（理系）学校推薦ガイダンス

【1月～2月】
- ◇就活マナーUPセミナー
- ◇業界研究セミナー
- ◇キャリアフォーラム（UIターン）
- ◇学内OBOG訪問会
- ◇OBOGによる面接練習会
- ◇グループディスカッション講座
- ◇模擬面接

【3月1日以降】
- ◇学内企業説明会（参加企業400社以上）

【6月以降】
- ◇学内合同企業説明会
- ◇オンキャンパスリクルーティング
- ◇履歴書とりまとめ

キャリアセンター相談窓口での個別相談／面接練習 等

【マイナビTV×Ritsumeikan】 自己分析、業界研究・企業研究など、就活に必要な動画コンテンツ満載！LIVE配信のほか、オンデマンド配信など、自分の都合に合わせて確認できる。

特別座談会　学生×学生オフィス

コロナ禍での取り組み

学友会は課外自主活動支援と学生間交流の促進を目的に「学友会特別支援事業実行委員会」を発足。新歓運動や学園祭は例年のような取り組みはできませんでしたが、多くの学生が参加できるような企画の実施に取り組んでいます。

同じ学生のために何かできることを。ピア・サポートの学生文化が根付いています。

―― 学友会特別支援事業を実施することになった経緯を教えてください。

寺田さん：アンケートなどで学生の声を集めてみると、やはり課外活動が十分にできないこと、学生同士の交流機会の減少などに関する意見が目立ちました。学友会は新歓運動の延期や学園祭の中止、アンケート結果等を踏まえ、オンラインでミーティングを繰り返し、何かできることはないかと検討してきた結果、学友会特別支援事業実行委員会を発足することになりました。

石井さん：特に新入生があまりにもかわいそうで、思い描いた学生生活が送れないだけでなく、課外自主活動団体と接する機会がこれまでのような形ではなかったのでクラブやサークルを十分に選ぶことができなかったと思います。今回のイベントで課外自主活動団体への参加意欲を高めたいと考えています。

―― 具体的にはどのような活動をする予定ですか？

寺田さん：まずは学友会のホームページで告知し、オンラインで「1回生クラブ・サークル交流会」を実施しました。Zoomを使ってクラブ・サークルが勧誘活動を実施しただけでなく、1回生同士が交流できる機会を提供しました。

石井さん：さらに各キャンパスでは対面での「サークルブース企画」を実施。各団体には新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドラインを提供しました。加えて、オンラインで団体が発信できる企画も予定しています。父母の皆様にも多くの学生の活動の様子をご覧いただけたらと考えています。※1

一　柳　：学生オフィスでは、この取り組みに向け、学友会とミーティングを重ね、学友会の主体的な取り組みを積極的にサポートしています。こうした状況下ではありますが、共に課題に向き合い、乗り越えていきたいと考えています。

※1…詳細が決まりましたら、学友会HPでご案内します。（「立命館　学友会」にて検索をお願いします。）

Message

学友会
特別支援事業
実行委員会
委員長
寺田 龍平さん
スポーツ健康科学部
4回生

先行きの見えない状況が続きますが、世間がどうなっているかよりも、自分がどうしたいかが大切です。より充実した学生生活に向け、一緒にがんばりましょう！

学友会
特別支援事業
実行委員会
副委員長
石井 庸晶さん
情報理工学部
4回生

自粛で家にいる時間が長いなら、資格などの勉強や読書などに充ててプラスにすることもできるはず。逆境をチャンスに変えてがんばりましょう！

学生オフィス
一柳 晋也

学友会は立命館大学の学生ピア・サポートを象徴する団体。立命館大学には学生が自主的に活動し、支え合う文化が根付いています。

【 News 】

保健センター① 発熱外来を設置します。

より安全･安心の学生生活のために。

立命館大学では衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、大阪いばらきキャンパスの3キャンパスに保健センターを設置しており、この度、学生がより安心して受診できるように発熱外来を新設しました。キャンパス内で発熱、風邪症状が出た学生は、通常の診察室とは別の場所で診療を行います。新型コロナウイルスの可能性がある場合はPCR検査を受けることも可能で、より安全で安心して学生生活を送れる環境を整えています。

キャンパス内の様々な箇所でサーモグラフィー検温を実施しています。

保健センター② 留学や実習など教学上重要な学外プログラム※1に参加する場合 PCRスクリーニング検査が受けられるようになります。

個人の理由で希望する場合でも検査を受けられます。

PCRスクリーニング検査は、教学上重要な学外プログラムに参加する無症状の学生を対象に行います。また、保健センターのキャパシティが許す範囲であれば※2、個人の理由で希望する場合でも、PCR検査を受けることができます。

一般の病院では3～4万円程度のPCR検査を立命館大学では1.5万円程度（金額は未定）で受けることができます。

※1…大学が認定したプログラムに限ります。
※2…予約枠がいっぱいの場合受けられない事もあります。

PCR検査費用（参考）

一般の病院
3～4万円程度

立命館大学保健センター
1.5万円程度

※金額は目安です。

保健センター所長
伊東 宏

保健センター所長からのメッセージ

気になる症状は、お気軽にご相談ください。

保健センターの隣に空間分離を施した発熱外来を新たに設置することで、より安心して受診していただくことが可能になりました。PCR 検査は、保健センターで検体を採取し、外部の検査会社に検査を依頼します。また、自宅で症状があった場合には、電話やメール等での相談も受けておりますのでお気軽にご相談ください。これからの時期は新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行も予想されます。学生の皆様は絶対に油断をしないで、今すべきこと、すべきでないことを適切に判断して責任ある行動を取ってもらいたいと思います。

※ PCR検査の開始時期については、1月中旬以降に学生にご案内します。
※ PCR検査は検体採取時点の感染状況を検査するものであり、それ以降の状況を表すものではありません。

こんなとき どうすれば…

保護者の気持ち

お役立ち Q&A

Q 子どもの食生活が心配です…。

A. 各キャンパスで100円朝食が再開しています。会場となる生協食堂では、入り口でのサーモグラフィー検温、ソーシャルディスタンスの徹底、非接触の支払いなど、様々な新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。また、生協購買も対策実施の上で再開していますので、多くの学生が利用しています。

食事席はパーテーションで区切られ、注意喚起がされています。

Q 最近、子どもに元気がないみたい…。

A. 立命館大学では人間関係、心身の悩み、進路のことなど、悩みに応じて様々な相談窓口を設置し、専門のスタッフやカウンセラーが対応しています。まずは相談窓口を訪れてお気軽にご相談ください。また、保健センターでは精神科（予約制）も設置しているので、こころのケアが必要な場合も対応しています。

ホームページで学生相談の各窓口をご案内しています。

Q 就職が心配…。

A. 立命館大学のキャリアセンターでは極めて充実したサポートを実施しています。P7でキャリアセンター東次長が言っている通り、まずは相談に訪れてください。最新の企業情報から採用試験の対策、さらには就職活動の進め方や悩みの相談など、スタッフが親身に対応しているのでぜひご活用ください。

キャリアセンターでは電話やオンラインでの相談も受け付けています。

Q 1日キャンパスや学園祭が中止で残念…。

A. 2020年度は保護者の皆様と交流を深めるイベントが中止となってしまい、楽しみにしてくださっていた皆様にはまことに申し訳ございませんでした。父母教育後援会のホームページでは、会報と連動した動画や昨年度のアカデミック講演会の様子などをご覧いただけるのでぜひそちらもご利用ください。

父母教育後援会のホームページで大学の様子がわかるコンテンツをご提供しています。

ゼミナール訪問 Vol.69

木村 和成
法学部 教授

本学法学部への入学を機に、故郷熊本から京都へ。その後、大学院に進み、助手、准教授などを経て、現在に至る。人格権・自己決定権をめぐる諸問題の研究を通じて、これからの「個人」と「社会」との関係、「社会」のあり方について日々考えている。

Webで
スペシャル動画を▶
配信中!

木村 和成ゼミ
●衣笠キャンパス　法学部

テーマ「人格権・自己決定権侵害をめぐる問題を考える」

人格権・自己決定権は法的にどこまで保護されるべきなのか。具体的な事例を通じて考察している。春学期は各自が与えられた課題を全員に共有して議論し、秋学期は2人対2人のペア同士で模擬裁判をするなどディベート形式で議論を深めている。

ゼミ生VOICE

池田 有希さん
判例を私たちの日常生活に起こりうる問題として捉え、権利の衝突や侵害について考えています。論理的な思考力が磨かれるゼミです。

糸山 穂乃香さん
不倫、人工妊娠中絶、シートベルトの着用義務などをテーマに扱っています。何が論点で、どうすれば合理的に説明できるのかを考えています。

上野 航平さん
ゼミでの討論を通じて、判例が必ずしも正しいわけではないということを学びました。常識や正しさを見つめ直す機会になっています。

岡田 祐弥さん
ペアで模擬裁判に挑んだことが印象的でした。主観的な意見では相手を納得させることが難しく、論理的で一貫性のある主張が必要だと感じました。

鎌田 あかりさん
自由を制限するに至る根拠に合理性があるか否かを考察しています。高校生の制服着用の義務、法律による禁煙の可否など身近な話題を扱っています。

鈴木 郁磨さん
客観的、論理的に話す人は近寄り難いイメージがありましたが、木村先生は逆で、気さくに学生と同じ目線で話してくれるので勉強になります。

千石 遼太さん
実際の事件を題材に模擬裁判をする授業に惹かれてこのゼミを選びました。ゼミで学んだことは将来を強く生きる力になると思います。

田村 真菜さん
民法の授業で木村先生のファンになりました。説明がわかりやすく、学生と気さくに話してくれるので、ゼミでは活発な議論が繰り広げられています。

寺木 一也さん
このゼミを選んだのは、いかにも法学部らしい討論ができるからです。自分の主張に合理性があるのか、客観的に知ることができます。

松下 稜生さん
春学期は毎回あるテーマについて、各自の主張を200字にまとめ、それをもとに議論しました。客観的に物事を考える力が鍛えられたと思います。

水野 紘邦さん
法科大学院への進学を考えています。木村先生は研究のことだけでなく、進路の相談にも気さくに応じてくれるので学生から信頼されています。

三隅 彩さん
民法の授業を受けていたことからこのゼミに関心を持つようになりました。模擬裁判で原告と被告が互いの主張をぶつけ合うのが興味深いです。

安本 夕夏さん
高校の先輩から紹介してもらってこのゼミを選びました。木村先生の働きかけで、先輩や卒業生との交流もあるところが魅力だと思います。

柳沼 美咲さん
主張が苦手だった自分を変えたくてこのゼミを選びました。ゼミでの討論は根拠と一貫性のある主張を端的に伝える訓練になっています。

山本 志織さん
自己決定権と人格権に関わる事例について、自分の身にも起こり得る身近な問題だという意識を持って研究に取り組んでいます。

山本 侑樹さん
木村先生はお話がわかりやすく、学生と真摯に向き合ってくれます。物事を一面的に見るのではなく、様々な角度から考える姿勢を教わりました。

ゼミナール訪問 Vol.70

寺内 一姫
生命科学部 教授

1999年に学位取得後、国内やアメリカの大学で研究を続け、2009年に本学着任。大学院生の頃シアノバクテリアの魅力にとりつかれて以来研究を続けて26年、今も小さなバクテリアの生き様から生命の不思議を学んでいる。

Webで
スペシャル動画を▶
配信中!

寺内 一姫ゼミ
生体分子ネットワーク研究室
●びわこ・くさつキャンパス　生命科学部

テーマ「光合成微生物の環境応答と体内時計」

光合成微生物であるシアノバクテリアは30億年にわたり地球上のあらゆる環境に適応して生きている。その小さな細胞の中で体内時計が時を刻みさまざまな環境への適応を支えている。そんな体内時計を中心とする環境応答の仕組みを分子レベルで明らかにしたいと考えている。

ゼミ生VOICE

赤木 智成さん
寺内先生は研究に取り組む姿勢を教えてくれます。漫然と論文を読むのではなく、何を学び取るのか考えるように指導してもらったことが印象に残っています。

稲垣 知実さん
光合成に興味があったのでこの研究室を選びました。光合成を行う生物である緑色硫黄細菌の反応中心での電子移動について研究しています。

植木 龍三郎さん
緑色硫黄細菌のC.tepidumにシアノバクテリアが持っている時計遺伝子を組み込み、先行研究で検証できなかった概日リズムの確認を行っています。

佐藤 泰河さん
緑色硫黄細菌の光合成に関わる研究をしています。光合成という誰もが聞いたことのある反応にもまだ未知の要素があるところに面白さを感じています。

高橋 実佳さん
先行研究の論文が難解で困っていた時に寺内先生が親身になって解説してくれました。おかげで今、実験を進める上で大いに役立っています。

二井 恭平さん
寺内先生は学生に対する目配り気配りが素晴らしいと思います。研究に行き詰まった時は必ず寄り添ってくれて、原因や解決策を一緒に考えてくれます。

水埜 元太さん
進学か就職かで悩んでいた時に寺内先生が先輩の事例を交えてアドバイスしてくれたので、迷いが吹っ切れました。卒業後は製薬会社で勤務します。

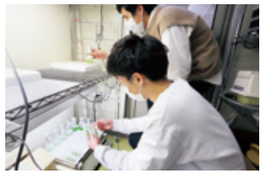
三好 玲於さん
24時間の概日周期が消失、または回復する条件を解析しています。研究室にはいつも笑顔があふれていて、いい雰囲気の中で研究に取り組んでいます。

森 大起さん
生物時計という約24時間周期のリズムを持つ生物の中で、最も簡単な生物であるシアノバクテリアの時計たんぱく質について研究しています。

山田 貴淳さん
KaiCというたんぱく質の化学反応に注目しています。普通は温度が高いほど化学反応は速くなりますが、KaiCは一定です。その理由を調べています。

横田 紘一さん
体内時計の仕組みに重要なKaiCたんぱく質について研究を行っています。寺内先生は結果が出ない時も親身になって相談に乗ってくれます。

吉野 晴貴さん
光合成に関わっていると考えられている色素分子の機能について調べています。将来は研究や開発に携わる仕事に就きたいと考えています。



知への扉

Vol.14

政策科学部

吉田 友彦教授

専門――都市・地域計画、住宅政策、まちづくり

立命館大学には多様な分野の専門家である教員が揃っています。
「知への扉」では最先端の研究に取り組む教員をお招きして、その分野の魅力や可能性について語ってもらいます。
今回は都市計画やまちづくりについて研究する政策科学部の吉田先生にご登場いただきます。

都市が抱える課題にアプローチ。政策の視点から解決策を探る。

Profile

京都大学・大学院工学研究科環境地球工学専攻修士課程修了、同博士後期課程単位取得満期退学、博士（工学）。筑波大学講師、韓国漢陽大学都市研究院のVisiting Scholarなどを経て、本学政策科学部教授へ。一級建築士。

建築からまちづくりまで、広く都市の課題にアプローチ。

Q. どんなことを研究されているのですか？

もともとは建築出身で、何平米の住宅に何人の人が住めるのかといった建築計画について研究してきました。一級建築士の資格も取得しています。そこからまちづくりや都市計画などに興味の範囲が広がり、街がどのように作られてきたのか、様々な事例をもとに研究しています。大学院生の頃は共に学んだ留学生を頼って海外の事例も見てきたことから、中国、韓国、インドネシアなどアジアを中心に海外の都市計画についても研究しています。日本や欧米の先進国では、人口減少に伴う空き家問題などに注目しているのですが、アジアの開発途上国では人口が増加しているので都市計画に関する課題もまったく異なります。例えば、2008年の北京オリンピックに伴って北京郊外の集合住宅はどのように変遷してきたのか、インドネシアで急速に発展する首都ジャカルタの郊外はどうなっているのかなど、フィールドワークを交えて様々な海外事例についても長年追いかけています。

持続可能な都市のあり方とは？「近居」に見る新しい可能性。

Q. 特に注目しているテーマは何ですか？

「近居」というキーワードに注目しています。親世帯の近くに住まう近居という概念自体は昔からあるのですが、政府や行政の政策、あるいは住宅業者の視点ではあまり意識されてきませんでした。そのため新しい街を集中的に開発しても、1世代で街が衰退してしまい、高齢化や空き家問題などが起きてきました。しかし、近居を推進することで、2世代、3世代と街が持続していくことにつながるのではないかと考えています。実際、近年では親と程よい距離感で暮らせることから近居する世帯が増えており、UR都市機構が「近居割」といった制度を打ち出すなど、徐々に注目され始めています。私はこの近居が地域を元気にする特効薬になるのではないかと期待しています。

海外でのフィールドワークも実施しており、学生が現地の大学と交流できる機会もプロデュースしている。

社会で強く求められている、問題解決型の人材を育成。

Q. 政策科学部ではどのような教育をされているのですか？

広くまちづくりや都市計画に関する入門的な授業を担当しています。建築学部なら建物を建てるというわかりやすい命題がありますが、政策科学部の場合はあるテーマのどこに問題意識を持つのかは学生個人の興味に委ねられます。例えば、空き家問題に対して、少子高齢化という社会問題に注目するのか、空き家をシェアハウスにするなど活用方法を考えるのか、各自の問題意識で考えていきます。多様な領域の専門家である教員が揃っているので、学生それぞれが関心のあるキーワードに注目し、そこにどんな問題があるのか、どうやって解決するのかを考えていきます。「社会科学的ゼネラリストの育成」というのが政策科学部の掲げる目標です。あらゆる分野で活用できる問題解決能力を身につけられるところに魅力があると思います。

教育の本質は変わらない。多様化に対応できる柔軟さを。

Q. 保護者の皆様にメッセージをお願いします。

2020年度はコロナ禍で春学期がWeb授業になるなど、教育環境が劇的に変化し、保護者の皆様もご心配事が多かったと思います。もちろん、学生にとってキャンパスで友人と会えないのは痛手で、そのダメージは察するに余りありますが、知的活動のみに焦点を当てるとデメリットばかりではありませんでした。今はWebツールが充実しているので、リアルタイムでつながりながら、論文などの資料を瞬時に共有できますし、チャット機能などで議論も活発に行われています。思えば私が学生の時代は統計1つ調べるだけでも市役所に電話していましたが、今の学生は3クリックもすればあらゆるデータにたどり着くことが可能です。コロナ禍で授業の形態が変わったとしても、知的活動のあり方が多様化しただけの話です。若者の柔軟性を信じて、どうか温かく見守ってほしいと思います。

先生の横顔

近所にある新日吉（いまひえ）神宮の神幸祭に参列する吉田先生。ご自身も市民の1人として、地域活動に熱心に取り組んでいる。

Vol.5・6

キャンパス探訪

CAMPUS WALK

びわこ・くさつキャンパス／大阪いばらきキャンパス～学部紹介編～

びわこ・くさつキャンパス（BKC）には経済学部、理工学部、情報理工学部、薬学部、生命科学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部の７学部、大阪いばらきキャンパス（OIC）には経営学部、政策科学部、総合心理学部、グローバル教養学部の４学部を設置しています。ここでは各学部でがんばる学生のキャンパスライフをご紹介します。

BKC

情報理工学部

College of Information Science and Engineering

学部長
山下 洋一
教授
専門分野
「音声情報処理」

子どもも大人も楽しめるゲームを作るクリエイターを目指して。

ソフトウエア開発の知識と技術を学んでいます。現在特に力を注いでいるのは、「学部プロジェクト団体 RiG++」でのゲーム製作です。3回生の夏には、3日間でゼロからゲームを製作して競う「ハッカソン」を企業と共催で実施し、他大学の学生と一緒に盛り上がりました。授業で学んだ知識と技術を実践でさらに高め、将来はゲームクリエイターになりたいと思っています。

ハッカソンでシャボン玉を割らずに運ぶゲームを製作し、企業賞を獲得！

情報理工学部 3回生
中村 紘之さん

BKC

経済学部

College of Economics

学部長
河音 琢郎
教授
専門分野
「財政学」

企業の「成功」の背景にある企業戦略と社会への影響を追究。

経済学部には約1,000名の学生が参加する「ゼミナール大会」があり、私は毎年この大会を楽しみにしています。今年のチームでは、コーヒーマシン市場で他社との差別化に成功した企業のビジネルモデルに注目し、成功の要因や企業の最適な選択が市場に与える影響について分析しました。仲間と意見やアイデアを出し合いながら、自分たちなりの結論を導き出す過程がとても面白かったです。

1、2回生の時に中国留学を経験。多様な人と協働する楽しさを学びました。

経済学部 3回生
外所 祐香さん

BKC

薬 学 部

College of Pharmaceutical Sciences

学部長
服部 尚樹
教授
専門分野
「医療系薬学」
「薬理学一般」
「病態検査学」など

恵まれた環境のもとで、即戦力となる薬剤師へ。

在宅医療で活躍できる薬剤師を目指しています。薬学部には医療現場さながらの最新設備と実習環境が整っていて、現場経験豊富な先生方も揃っています。また、ロールプレイなどで患者様との接し方も学べる機会も多く、即戦力として活躍できる力を養うことができます。日々変化する医療へのニーズに対応し、患者様の目線に立って信頼されるような薬剤師になりたいと考えています。

実務前実習でのロールプレイの様子。言葉遣いの練習にもなります。

薬学部 4回生
足立 玲菜さん

BKC

理工学部

College of Science and Engineering

学部長
高山 茂
教授
専門分野
「計測工学」
「通信・ネットワーク工学」

国境を越えて課題解決型学習に挑戦。価値観や考え方の違いが新鮮でした。

立命館大学は理工系学部も留学プログラムが充実しています。私はニューヨークやインドに複数回の留学を経験して、現地の学生と共同で課題解決型の学習に取り組むなど、貴重な経験をすることができました。研究室では環境保全のために銅のリサイクルに関する研究に取り組んでいます。卒業後は大学院に進学し、将来は環境保全で社会に役立つ仕事をしたいと考えています。

インドで現地の学生と課題解決型学習に取り組み、終了後は一緒に観光を楽しみました。

理工学部 4回生
山本 涼太さん

BKC

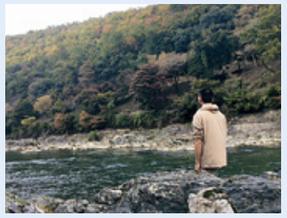
生命科学部

College of Life Sciences

学部長
若山 守
教授
専門分野
「応用微生物学」
「応用生物化学」
「食品科学」

勉強や自治会活動などで忙しい毎日。学生にしかできないことを全力で。

生命科学と情報科学を組み合わせた新しい領域を学んでいます。遺伝子工学に興味があるので、例えば、DNA情報を解析してオーダーメイドの治療を実現するなど、医療貢献につながるような研究に挑戦したいと考えています。また、自治会にも参加していて研究室と学生の交流を深める活動などにも取り組んでいます。今できることに全力で取り組んでいるので忙しくも充実した日々を送っています。



趣味は月に1度の京都巡り。オフの日も自転車旅行などで走り回っています。

生命科学部 2回生
髙坂 仁さん

BKC

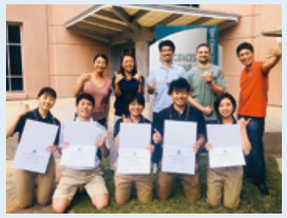
スポーツ健康科学部

College of Sport and Health Science

学部長
長積 仁
教授
専門分野
「スポーツマネジメント」

学部独自のプログラムで、世界で通用するアスレティックトレーナーへ。

学部の「グローバル・アスレティックトレーナー（GAT）プログラム」を活用し、立命館大学卒業後にアメリカの大学院に進み、アスレティックトレーナーの資格取得を目指します。様々な専門知識に加え、英語や医学の勉強もしなければならないので忙しいのですが、スポーツ健康科学部ならではのチャンスだと思うので、全力でチャレンジしたいと考えています。



ハワイの大学でアスレティックトレーニングに関わる現場研修を経験しました。

スポーツ健康科学部 3回生
山口 あかりさん

BKC

食マネジメント学部

College of Gastronomy Management

学部長
朝倉 敏夫
教授
専門分野
「社会人類学」
「韓国社会論」

食に関するイベントを実施。アイデアを形にするのが面白い！

コロナ禍で行き場をなくした食材の活用と地域の生産者様を元気づけることを目的に、「Beyond Kitchen運営委員会」というオンラインプロジェクトを立ち上げました。お弁当やワンプレートなどのアイデア料理コンテストを実施したところ、一般Web投票では8,000票以上が集まるなど想像以上に大きな反響がありました。食の社会問題に向き合うきっかけを提供できたと思います。

特設サイトを設置。私たちの想いが伝わるよう、広報活動にも力を入れました。

食マネジメント学部 3回生
三浦 凜さん

OIC

経営学部

College of Business Administration

学部長
小久保 みどり
教授
専門分野
「社会心理学」
「経営学」

ゼミの研究と両立しながら、難関の公認会計士試験に合格。

経済的な豊かさを達成しつつ、自己犠牲ではない社会貢献をすることが私の考える幸福論です。ビジネスの成功事例を学べる経営学部に入って、ゼミを中心に顧客価値を創造するビジネスシステムの研究をする一方、難関と言われる公認会計士試験に合格。卒業後は監査法人で勤務し、将来的には独立を目指します。目標から逆算して早めに動くことが成功につながる秘訣だと思います。

3回生で公認会計士試験に合格。社会に認められるための手段の1つを得ました。

経営学部 4回生
村尾 郁弥さん

OIC

政策科学部

College of Policy Science

学部長
岸 道雄
教授
専門分野
「公共経済学」
「公共経営論」
「労働政策」

よりよいまちを作るために、市民が参加できる方法を考える。

政治思想や政策過程論を学ぶうちに、社会の課題に対して自分がどう貢献できるのかを考えるようになりました。ゼミではまちづくりや都市計画を学んでおり、市民参加による行政サービスの向上をテーマに研究しています。国や自治体が持つ人口、年齢、天候などのデータを、市民レベルのテクノロジーで活用する方法を探っています。大学院に進学してより研究を深めるつもりです。

学生委員会の活動にも参加していて、研究発表会の運営をサポートしています。

政策科学部 4回生
加減 航さん

OIC

総合心理学部

College of Comprehensive Psychology

学部長
佐藤 隆夫
教授
専門分野
「知覚心理学」

心理学の幅広い分野を体験的に楽しみながら学んでいます。

知覚、認知、学習、記憶などに関する心理を幅広く学んでいます。授業では、心理学の先行研究が本当に正しいのかを自分たちで検証する機会もあります。例えば、意思決定の際には個人よりも集団で考えたときの方が極端な意見になりやすいという理論をクラスで検証しました。異なる結果が出たときには、その要因を分析するのも興味深く、楽しみながら学びを深めています。

授業で使うテキストはとても興味深く、何度読んでも新しい発見があります。

総合心理学部 2回生
王 語非さん

OIC

グローバル教養学部

College of Global Liberal Arts

学部長
金山 勉
教授
専門分野
「地域研究」
「政治学」
「社会学」

すべての授業を英語で学ぶグローバルスタンダードな環境が魅力。

立命館大学とオーストラリア国立大学（ANU）の2つの学位の取得を目指しています。授業はすべて英語で行われ、1回生では哲学や美術史、プログラミングなどを学び、興味の幅を広げることができました。2回生からはANUの授業が始まり、オーストラリアの先生が解説する東アジアの歴史がとても印象的でした。今後はより広い視野でアジアの国際関係を研究したいと思っています。

イノベーションに挑戦する授業で「革新的な帽子」の企画を仲間と考えました。

グローバル教養学部 2回生
清水 誉さん

POINT OF VIEW

——識者の視点——

「新型コロナウイルス」
～アフターコロナの社会～

私たちはこのウイルスとどう向き合うのか。

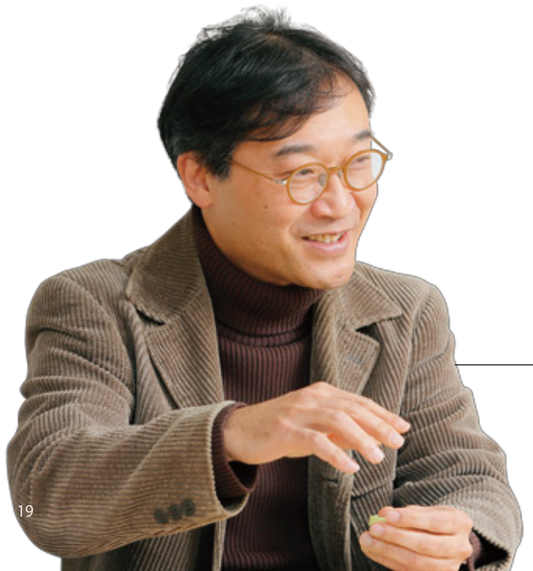
新型コロナウイルスのパンデミックによって世界には大きな変化が訪れました。
アフターコロナと言われる社会の中で、
私たちはこの感染症とどう向き合うべきなのでしょうか。
医師であり、医療社会学者でもある美馬先生にうかがいました。

これまでにもあったパンデミック。実はこういう感染症は珍しくない。

——今回の新型コロナウイルスについてどう見ておられますか？

まず最初に申し上げておきたいのは、新型コロナウイルスのような新しい感染症は決して珍しくないということです。2002～2003年には今回と同じく中国を中心にSARS（重症急性呼吸器症候群）のアウトブレイクがあり、2009年には豚由来の新型インフルエンザのパンデミックがありました。感染拡大の規模や健康被害の大きさは異なりますが、いつか今回のような感染症が発生することは医学・公衆衛生学の世界では予見されていました。これまで発生しなかったのは単なる偶然に過ぎなかったのです。

約100年前に世界中で多くの死者を出したいわゆる「スペインかぜ」もインフルエンザの一種です。ただその頃と違うのは、人の移動が活発になり、都市や国境を越えて感染が拡大しやすい時代になったことです。今回は一時的に国境を封鎖するなどの措置が取られましたが、パンデミックを防ぐことはできず、これからはこの感染症とどう向き合っていくのかを世界全体で考える必要があります。



コロナ禍が起こした社会の混乱。今、私たちがすべきこととは？

——なぜ社会はこれほど混乱してしまったのでしょうか？

世界的に見ると日本は感染者の数が少なかったのですが、その理由には諸説があります。社会的距離なのか、免疫力の違いなのか、あるいはBCGワクチンの効果なのか、いろいろな可能性が考えられますが、今の段階では誰にもわかりません。それにも関わらず、初期の頃には感染者への差別が起きてしまいました。海外旅行に行って感染した大学生が叩かれたり、パチンコ店や演劇・音楽活動に批判が集まったり。なぜこのようなことが起こるのかというと、多数派の価値観から少しでもずれた人は攻撃されやすいからです。「まだ働いてもいない大学生が」「社会の生産的活動ではないギャンブルやアートなんて」などと、社会が叩きやすい人を叩く現象が起こってしまうわけです。しかし、冷静に考えると、そんな理由で人を差別することは間違っています。

現在は初期の頃よりも感染経路や死亡率、予防に必要な対策が少しずつわかってきました。これから私たちは生活の順位の中で、何を優先し、何を我慢するのかを判断していかなければなりません。立命館大学をはじめ2020年に入学した大学生は、高校時代の友人と疎遠になり、新しい友人も作りにくい状況で精神的に苦しい思いをしてきました。他にもより苦しい立場にいる留学生や経済的な問題を抱えた人など、コロナ禍で脆弱性を抱えた人は少なくありません。今、社会がするべきはそういう人たちを支えてあげることだと私は思います。

美馬 達哉
先端総合学術研究科 教授

Profile
京都大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。同大学大学院医学研究科附属脳機能総合研究センター准教授を経て、本学大学院先端総合学術研究科へ。

■人類を脅かしてきた主な感染症のパンデミック

感染症	概要	流行時期	推定死者数※
ペスト（黒死病）	船の積荷に紛れて上陸したネズミに付いていたノミが媒介し感染が拡大。史上最悪規模のパンデミックになり、ヨーロッパの人口の約3分の1が命を落としたとされる。	1347～1351年	約2億人
天然痘（痘そう）	コロンブスの上陸以降アメリカに侵入。先住民族に激甚な被害をもたらした。アステカとインカ帝国滅亡の大きな原因の1つと言われている。	1520年頃	約5600万人
スペインかぜ	全世界で大流行したH1N1亜型インフルエンザの通称。流行源は不明だが、感染情報の初出がスペインだったためこの名で呼ばれる。	1918～1919年	約4000万～5000万人
AIDS（後天性免疫不全症候群）	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）が人間の血液に入って起こる感染症。国連合同エイズ計画（UNAIDS）によるとHIV陽性患者数は世界で約3790万人（2018年現在）。	1981年～現在	約3200万人
SARS（重症急性呼吸器症候群）	SARSコロナウイルスによって引き起こされるウイルス性の呼吸器疾患。中国南部を中心に8098人が感染し、世界で774人が死亡した（WHO発表）。	2002～2003年	774人

※死者数については諸説あり、様々な推計値が存在します。あくまで目安とお考えください。

落ち着くまでには時間が必要。違いと向き合い、建設的な議論を。

——これからの社会はどうなっていくのでしょうか？

保護者の皆様の世代なら、1980年代にAIDS（後天性免疫不全症候群）が出現した頃を覚えている方も多いのではないでしょうか。当初は日本でもパニックが起こって、人々の間にはあらぬ誤解や偏見が生じましたが、今では正しい知識がある程度は広まっています。それと同じで過剰な反応は時間と共に落ち着いてきます。現在は日本人の多くがマスクや手洗い、3密を避ける取り組みなどを実施していますが、何が正しいのかは実行してみないとわかりません。5年、10年と時間がかかるかもしれませんが、日常生活を生きる人の常識というものが少しずつ醸成されていくので冷静に待ちましょう。1つ気をつけたいのは、同じ習慣を共有していない人を差別するべきではないということだと思います。日本人同士でも感染症対策のあり方で諍いはありますが、異なる文化や価値観を持つ外国人が相手なら、なおさらギャップは大きくなるはずです。このグローバル化の時代の中で、違いを排除するのではなく、どう付き合っていくのかを考えていくことが建設的な議論を生み出すのではないでしょうか。

『感染症社会 アフターコロナの生政治』
美馬先生の近著。新型コロナウイルスに関する医学的知見をふまえ、疫病の歴史や社会学的分析から「感染症社会」を考察している。

急激に変化する社会。次代を担う若者にエールを。

——保護者の皆様にメッセージをお願いします。

残念ながら病気のない世界というのはあり得ません。私たちは病気やウイルスと向き合い、どう共生していくのかを考える必要があります。ウイルスについては不明なことも多く、例えばお腹を壊すノロウイルスが腸内環境の改善に役立っている可能性が最近発見されました。人との共生関係で、コロナウイルスにも良い面があるかもしれません。長い目で見ないとわからないということを頭の片隅に置いておいてほしいと思います。

また、アフターコロナの世界では、ものすごいスピードで社会に変化が起きています。大学教育においても、Web授業と対面授業をどのように組み合わせてより高い教育効果を得られるようにするのか、喫緊の課題として突きつけられています。しかし、今、大学生であるお子様たちにとってすべてが逆風というわけではありません。社会の転機に、その先端にいるとも考えられます。今の時代を生きる若者たちは、新しい社会を作るというバトンを渡されました。私は学生たちのこれからの活躍に大いに期待したいと思います。

脳神経内科の医師として、神経科学者として長く人間の脳活動計測に携わってきた美馬先生。大学院先端総合学術研究科では、医療社会学、生命倫理などに近い分野を教育・指導している。

卒業生からの手紙
Letters from graduates
●十一通目●

老舗京扇子店の若女将として活躍中

伝統を守るために新しいことに挑戦。京町家で育まれた美しい文化を未来に継承するために。

株式会社　大西常商店
4代目若女将
大西 里枝さん
2012年3月政策科学部卒業
京都府出身

Webで
スペシャル動画を▶
配信中!

Profile

学生時代は国際ボランティアサークルで活動。卒業後はNTT西日本での勤務経験を経て、家業の大西常商店を継ぐことを決意。扇子の製造・卸・小売や京町家の伝統を伝える活動などに取り組んでいる。

ボランティアに励んだ学生時代。地域への想いがより強いものに。

私が立命館大学を選んだのは、京扇子の家業を営む京町家のように、古き良き伝統を保全する活動に興味を持ったからです。政策科学部にはまちづくりや行政学の専門家である先生が多数在籍していたので私にはぴったりだと思いました。1回生から小規模演習の授業が充実していたので、そこで友人を作ったり、4年間の過ごし方を学んだり、スムーズに大学生活に馴染めたと思います。

在学中に力を入れたのは、国際ボランティア学生協会「IVUSA京都」での活動です。先輩が紹介してくれた課外自主活動団体で、地域活性化、国際協力、災害支援など様々な活動に取り組んでいます。私の場合は地域活性化の運動に関心があったので、熊本県天草市との交流・支援活動に力を入れていました。現地を訪問して、流木撤去・清掃活動に取り組んだほか、企業や行政とも連携しながら地域の活性化方策を模索していました。100～200名の学生が動く大きなプロジェクトに参加し、学生のうちに地域住民の皆様や企業・行政の方々と交流できたことは、私にとって素晴らしい社会経験になったと思います。

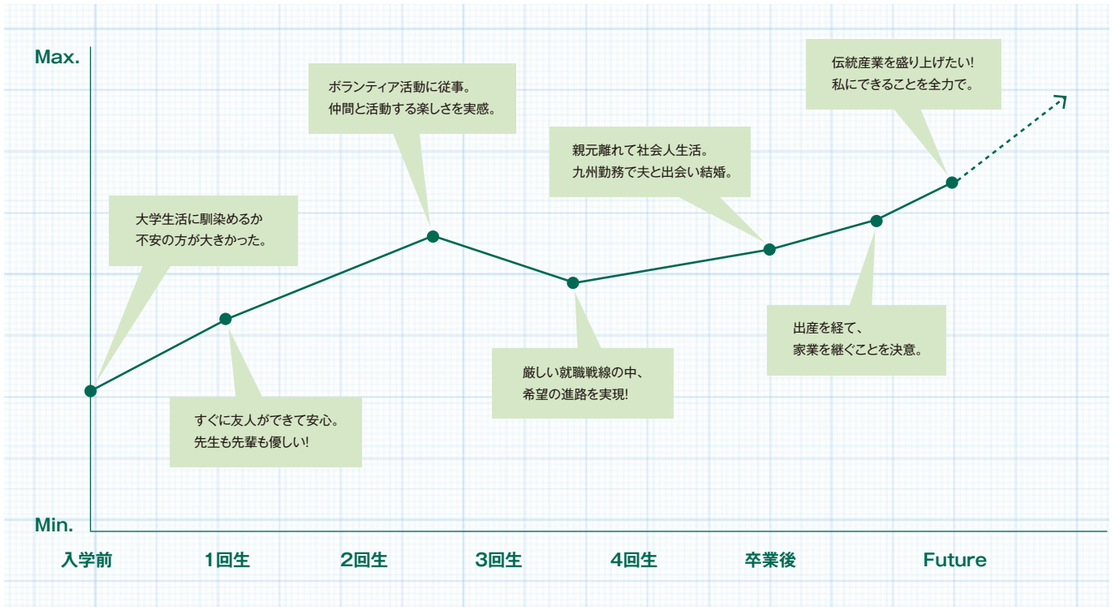
このような経験から就職活動ではインフラ系などの地域に貢献できる企業に魅力を感じていました。その折東日本大震災が発災し、暮らしを支える仕事により強く惹かれるようになり、NTT西日本に就職を決めました。そこでおよそ4年半の勤務を経験し、結婚、出産を機に京町家で暮らすうちに、家業や伝統工芸をどう盛り上げていくかという方向に人生をシフトしていこうと考えるようになりました。

100年先の未来を見据えて、伝統と革新の新しい関係を模索。

2016年に父が経営する大西常商店の4代目女将として家業を継ぐことを決意した私は、100年続いた家業を次の100年につないでいくという目標を立てて、新しいプロジェクトに取り組んでいます。その1つが築150年の伝統的な京町家を開かれた空間として活用すること。痛んだ町家の維持は困難で、取り壊してビルに建て替えるというお話を何度かいただきましたが、「うちらは今、この家をご先祖さんからお預かりしてるだけ」という母のひと言で、家族で守っていこうと決めました。「築150年の京町家を、京都の暮らしと伝統文化を伝える場所に」と銘打って、クラウドファンディングで支援を募ったところ、予想を超えるたくさんの方にご賛同いただき、大規模な改修が実現しました。現在ではレンタルスペースやお茶会の場として、たくさんの方々に親しまれる場所となっています。他にも扇子の骨を使ったルームフレグランスなど、昔からあるものを今の暮らしに合わせて変えていくことで、新しい商品を開発することにも挑戦しています。社長である父は私が新しいことを始める姿勢に寛容で、そっと見守ってくれるので、これからも100年先につながる次の一歩を踏み出していきたいと思っています。

私が卒業した政策科学部の先生とは今もつながりがあって、学生を連れて京町家を見学に来てくれることもあります。良い師、良い仲間に出会えたことが、学生生活の一番の思い出です。何かに挑戦したいという気持ちがあれば、立命館大学にはその想いに共感してくれる仲間がきっと見つかるはずです。自由に挑戦できるのが大学生の醍醐味なので、後輩の皆様のご活躍を大いに期待しています。

紆余曲折グラフ



あるある探検隊

●第8回MISSION●

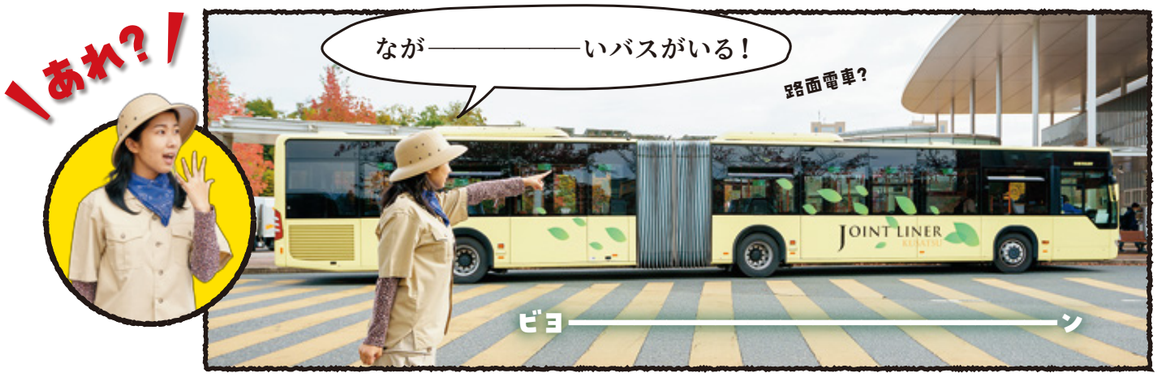
BKCに路面電車!?

JR南草津駅からびわこ・くさつキャンパスまでの道のりで、線路もないのに、路面電車を目撃したという情報を入手した。果たしてその真相はいかに!?

PROFILE

札野 優希隊員
産業社会学部 4回生

保護者の皆様にはすっかりお馴染みとなった札野隊員も今回で卒業。最後のレポートも元気にがんばります！



これが近江鉄道が運行する連節バス

JOINT LINERだ！

地域と共に歩むシンボルとして。

こちらの「JOINT LINER」は、関西では2例目となる連節バスとして2016年に誕生しました。今では地域と共に歩む立命館大学のシンボル的な存在として、JR南草津駅からの通学路で親しまれています。近江鉄道さんのご厚意で、秋学期に対面授業が再開した際にはいの一番に運行を再開していただきました。

立命館大学 BKC地域連携課 課長　井上 拓也

近江鉄道さんの粋な計らいで、バスの電光掲示板には「おかえりなさい」のメッセージが表示されました。

今回の発見

BKCは地域とつながっている！

プレゼントクイズ

Q. BKCスポーツ健康コモンズ内にあり、運動後にくつろげる空間の名称は？

ANSWER
○○○○○コモンズ

ヒント　父母教育後援会の寄付によって設置されました。

こちらのハンカチをプレゼント！

応募はWebから！

お知らせ　札野隊員が卒業！ 4代目は永砂隊員へ！

1年間、楽しかったです！後任の永砂さんのことも応援してくださいね！

Webで札野隊員からのメッセージを配信中!

札野隊員が卒業のため、次号からは新たに永砂 優芽さんが隊員を務めます!

新隊員·永砂 優芽さん

摂津の風土記

日本の古代史、宗教史を研究する文学部の本郷先生が、大阪いばらきキャンパスがある大阪の歴史にまつわる様々なエピソードをご紹介します。

極楽橋から望む大阪城の天守閣

第三シリーズ　茨木周辺の古社寺とゆかりの人びと

総持寺と藤原山陰

OICのある茨木市内に、総持寺という平安前期の9世紀に創建された真言宗の古刹が所在する。この寺院の創建について、『今昔物語集』に次のような話が見える。

藤原山陰（やまかげ）（蔭）という貴族が住吉大社に参詣した際、鵜飼の船に乗せられた亀を買い取り、海に放してやった。その後年月を経て、この山陰の妻が海に投げ込んだ先妻の子の若君を、亀が甲羅の上に載せて運んできた。亀は一旦海に戻ったが、山陰の夢の中に現れ、かつて助けられた恩返しに、若君を救い届けたことを告げた。

山陰はこの若君を法師にし、一度亡くなった児であることから、如無（によむ）と名付けた。如無法師は興福寺の僧となり、宇多上皇に仕えて僧都の地位にまで昇った。恩返しとはいえ、人の命を救い、夢でその経緯を告げるなどというのは、その亀が仏・菩薩の化身であったからに違いない。この藤原山陰は、摂津国に総持寺という寺院を創建した人物として、語り伝えられている。

一方、総持寺に伝来する近世初期の『総持寺縁起絵巻』によると、類似した経緯ではあるが、継母により川に投げ入れられたのは藤原山陰自身であり、かつて漁師たちから大亀を買い上げて逃がした父・高房が観音に祈願したことで、山陰が助けられたとされる。

高房は観音の恩に報いるため造像を発願し、材料の香木を唐で求めようと遣唐使に依頼したが、持ち出しが禁じられ、遣唐使はその香木に銘を記して海に流す。高房の死後、山陰が日本に流れ着いたこの香木を手に入れ、長谷寺に参詣して仏師の童子に観音像の製作を依頼する。実は、この童子は長谷寺の観音の化身で、作り上げた観音像を祀って総持寺が建立された。

ここにはまさに、観音の霊験譚と、放生（ほうじょう）された動物の報恩譚を合わせて見て取ることができる。放生は仏教で重視された行為で、平安初期の説話集『日本霊異記』にも類話が見られるが、ただ、『今昔物語集』のように、その動物自体を仏・菩薩の化身と受け止めた例は稀であり、興味深い。

この説話に登場する藤原高房・山陰・如無の三代は、実在した藤原北家の人物である。高房は越前等の国司を歴任し、良吏として知られた。その二男・山陰は、元慶3年（879）参議の任にあって、摂津国の班田を検校する役割を担うが、総持寺もこの年に創建されたと伝える。その三男の如無は出家して法相宗の僧となり、宇多上皇に近侍して大僧都の地位につく。すなわち、上記の説話はいずれも、この三代の事績を踏まえて著されたことがわかる。

中納言にまで昇った山陰の死後、総持寺はその子供たちにより伽藍が整備され、寛平2年（890）に落慶したと言われる。12世紀に三好為康が編纂した『朝野群載』に、総持寺の鍾銘とその製作にまつわる話が見えるが、そこには、高房の意志を受け継いだ山陰が、摂津国島下郡に総持寺を創建し、唐より得た白檀の香木で造った千手観音像を安置し、その二男の藤原公利が延喜7年（907）に鐘を鋳造したと伝えている。

現在総持寺は、西国三十三所・第二十二番札所の観音霊場として、多くの参詣者で賑わっている。

WEBで連載企画を毎月更新中!

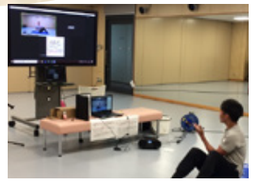
文学部
本郷 真紹教授
専門分野:日本古代史

Information

お申込み方法　**Webにて登録受付**
（立命館大学HPより申請）

詳しくはネットで検索▼
BKCスポーツ健康コモンズ

【公式アカウント】
Twitter・Instagram・
LINE@情報発信中！



Zoomでのリアルタイムライブ配信！

びわこくさつキャンパス正門横

立命館大学
BKCスポーツ健康コモンズ
〒525-8577 草津市野路東1-1-1
TEL 077-599-4171

父母教育後援会からのお知らせ

卒業生に袱紗をプレゼント。

新社会人になる卒業生に、毎年父母教育後援会より卒業記念品としてオリジナル袱紗を贈呈しています。「R」のロゴが織り込まれたオリジナルの京都「西陣織」で作られており、慶事や弔事の両方に利用できます。

立命館大学からのお知らせ

2020年度卒業式のご案内

日　程	キャンパス
2021年 3月20日（土・祝）	大阪いばらきキャンパス
2021年 3月21日（日）	衣笠キャンパス
2021年 3月22日（月）	びわこ・くさつキャンパス

※詳細につきましては、立命館大学HPで別途ご案内しますので、そちらをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、予定が変更になる場合がございます。予めご了承ください。